

クラウド型脆弱性管理サービス FutureVuls

脆弱性管理を徹底的に自動化 ノウハウ不要でリスク管理

このような課題はありませんか？

- ✓ 管理対象が多岐にわたり、把握・整理ができていない
- ✓ 判断が可能な専門家がおらず、対応方針・優先度がわからない
- ✓ 組織・チームごとにバラバラの対応をしており、統一感がない

FutureVulsでは

脆弱性管理の効率化・コスト削減 ができます

POINT1



あらゆるシステムの
脆弱性情報を一元管理

POINT2



リスクベースで
自動で対応判断(SSVC)

POINT3



大規模な組織でも
安定した運用が実現

主な機能

- 資産管理
- 脆弱性検知
- チケット管理
- リスク評価
- コミュニケーション
- SBOM管理
- ダッシュボード
- 対応サポート

サービスの特長

✓ あらゆるシステムの脆弱性情報を一元管理

資産と脆弱性、対応履歴等の情報が一箇所に集約され、把握が容易になります。
幅広い環境やシステムに対応しているためどのようなケースにも適応できます。



✓ リスクベースで自動で対応判断 (SSVC)

検出した脆弱性の「リスク = 脆弱性 × 脅威 × 資産重要度」を考慮して、
対応レベルを 4段階に決定できます。自動で優先順位付けが可能なため、
専門家なしで、円滑な脆弱性管理が実現できます。



✓ 大規模な組織でも安定した運用が実現

複数組織を横断した管理を可能とする機能や、他ユーザーと情報共有が可能な
タスクコメント機能など、大規模な環境でも円滑な運用を実現できる機能を
揃えています。



FAQ

Q. 無償トライアルは可能ですか？

A. 可能です。期間も柔軟にご対応いたしますので、お問い合わせください。

Q. サポート体制について教えてください。

A. 丁寧な導入支援で、未経験でも安心してご利用いただけます。
また、ご不明点をいち早く解決できるよう、充実したマニュアルをご提供しております。

Q. どのような規模の組織が利用していますか？

A. 数台規模から数千台規模まで、業界問わずさまざまな企業や組織での導入実績がございます。

Q. 情報の更新頻度はどれくらいですか？

A. 1日数回情報を更新しているため、公開されたばかりの脆弱性もいち早く検知可能です。

Q. 導入手順が難しいか不安です。

A. 導入は非常に簡単で、アカウントを作成するだけですぐに使い始めることができます。
サーバーの登録も5分で完了します。

FUTURE

「資料請求」「オンラインデモ」「無償PoC」は
<https://vuls.biz> よりお問い合わせください

